

高次脳機能障害学演習

[演習] 第3学年 前期 必修 1単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○黒崎芳子 田村至

【概要】

失認、失行、記憶障害、遂行機能障害、注意障害、認知症に関する検査の選択、評価法についての必要な基本的知識を学び、適切に鑑別診断、評価報告書作成、リハビリテーションを行うための実践的能力を身につけます。

【学習目標】

高次脳機能障害に対する評価・診断およびリハビリテーションを実施できるよう、検査方法および目的、結果の解釈を理解する。

1. 高次脳機能検査の目的・施行法・結果の解釈を理解し、適切な検査の選択を説明できる。
2. 失認、失行、記憶障害、遂行機能障害、注意障害、認知症などの高次脳機能障害の検査を適切に実施できる。
3. 評価報告書の書き方、リハビリテーションの方法について説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	知的機能検査	知的機能検査（解説と演習）	田村至
2	知的機能検査	知的機能検査（解説と演習）	田村至
3	失認検査	視知覚検査（解説と演習）標準高次視知覚検査（VPTA）	黒崎芳子
4	失認検査	視知覚検査（解説と演習）BIT行動性無視検査 その他	黒崎芳子
5	遂行機能、注意機能検査	遂行機能、注意機能検査（解説と演習）標準注意検査法（CAT）	黒崎芳子
6	遂行機能、注意機能検査	遂行機能、注意機能検査（解説と演習）標準注意検査法（CAT）	黒崎芳子
7	遂行機能、注意機能検査	遂行機能、注意機能検査（解説と演習）遂行機能障害症候群の行動評価（BADS）、ウィスコンシンカード分類課題（WCST） その他	黒崎芳子
8	記憶検査	記憶検査（解説と演習）三宅式記銘力検査、標準言語性対連合学習検査（S-PA）ほか	黒崎芳子
9	遂行機能、注意機能検査	遂行機能、注意機能検査（解説と演習）	田村至
10	失行検査	一般的な失行検査の方法とともに、標準高次動作性検査（SPTA）の解説と演習	黒崎芳子
11	記憶検査	記憶検査（解説と演習）リバーミード行動記憶検査（RBMT）	黒崎芳子
12	記憶検査	記憶検査（解説と演習）リバーミード行動記憶検査（RBMT）	黒崎芳子
13	記憶検査	記憶検査（解説と演習）ウエクスラー記憶検査（WMS-R）	黒崎芳子
14	記憶検査	記憶検査（解説と演習）ウエクスラー記憶検査（WMS-R）	黒崎芳子
15	演習のまとめ（症例報告書作成）	症例報告書を作成し、検査結果の分析・解釈について学ぶ	黒崎芳子

【評価方法】

レポート40%、定期試験60%

フィードバックとして、授業内で提示した演習課題のポイントを解説する。

【備 考】

その他 : 高次脳機能検査に関して、マニュアルに従って適切に施行できるだけでなく、検査の目的、結果の解釈をよく理解してほしい。

【学習の準備】

予習では、検査のマニュアル、教科書を熟読し、施行法、その他注意点を把握する(80分)。

採点方法などの基準を理解しておく(80分)。

復習では、被験者にわかりやすい教示を実践できるよう実技練習を行う(80分)。

検査のマニュアル、教科書、授業で配布された資料を整理し、検査の目的、結果の解釈をよく理解する(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP4) リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

黒崎芳子(言語聴覚士)

田村至(言語聴覚士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かし、高次脳機能検査の実技の習得を指導し、高次脳機能障害の診断・評価についての実践的講義・演習を行う。